

道の駅

「道の駅」とは

目的

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興や安全の確保に寄与

3つの機能

休憩機能

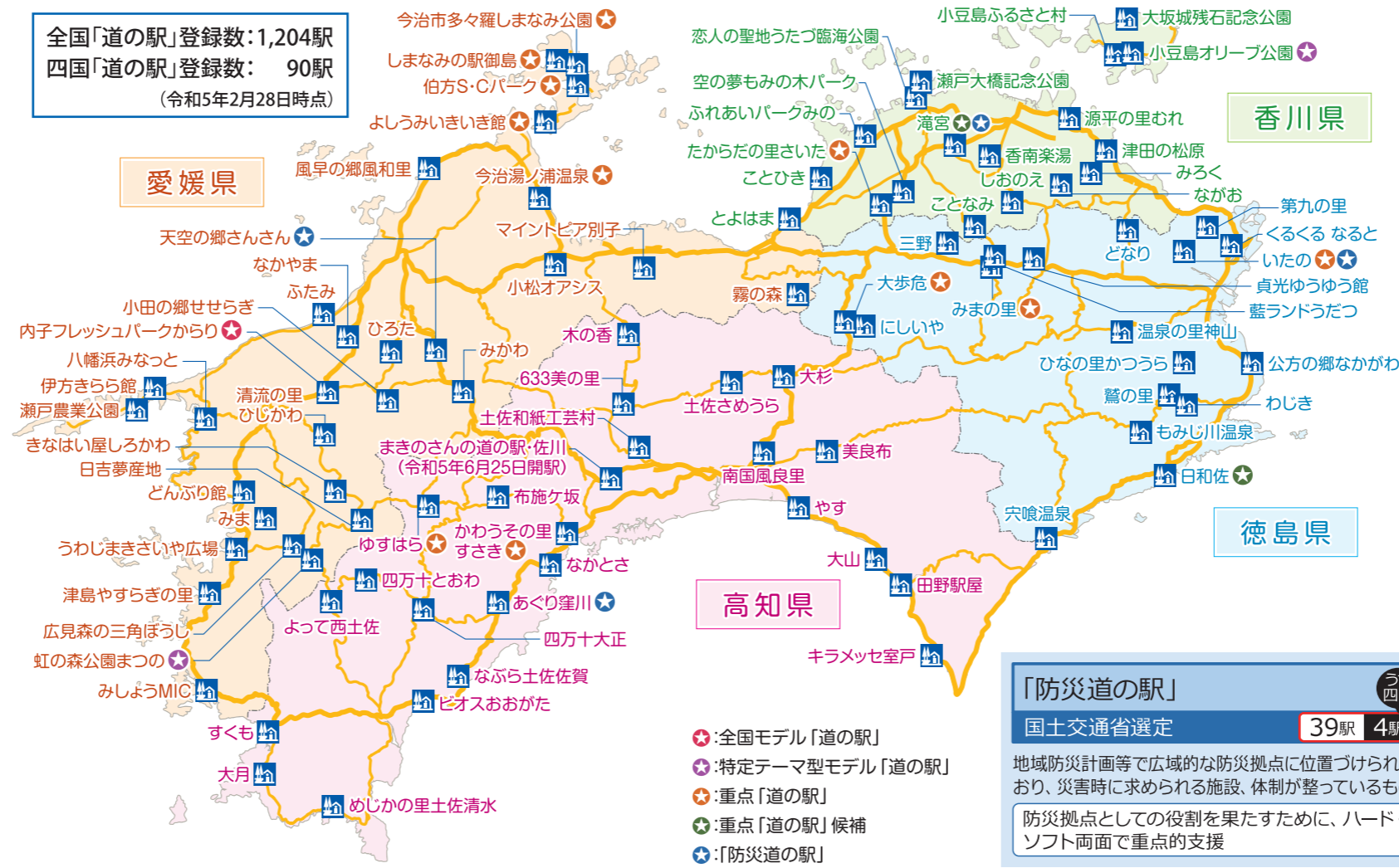
24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等を提供

地域連携機能

文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設や防災施設(感染症対策を含む)  
※災害時は、防災機能を発現



**全国モデル「道の駅」** (うち四国 1駅)  
国土交通大臣選定 6駅

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの  
全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、さらなる機能発揮を重点支援

**特定テーマ型モデル「道の駅」** (うち四国 2駅)  
国土交通大臣認定 13駅

地域住民へのサービス向上に資する取組や、地域住民の生活の足の確保に資する成果を上げているもの  
全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応する等、「道の駅」の質的向上に貢献

**重点「道の駅」** (うち四国 7駅)  
国土交通大臣選定 103駅

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの  
取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し重点支援

**重点「道の駅」候補** (うち四国 2駅)  
地方整備局長等選定 78駅

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの  
関係機関が連携し、企画検討等を支援

「道の駅」第3ステージ

**I 新たなコンセプト**

第1ステージ (1993年～) 『通過する道路利用者のサービス提供の場』  
第2ステージ (2013年～) 『道の駅自体が目的地』  
第3ステージ (2020～2025年) 『地方創生・観光を加速する拠点』へネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献

1,160駅に展開 全国法人の始動

**新たな「道の駅」ネットワーク**  
多様な主体との連携: 民間企業、大学・高専、道庁関係団体、DMO、JNTO・海外、福祉団体・農協・郵便、防災機関、交通事業者

**第3ステージの概要**  
1. 「道の駅」を世界ブランドへ  
2. 新「防災道の駅」が全国の安心拠点に  
3. あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに

**II 「2025年」を目指す3つの姿**

**1. 「道の駅」を世界ブランドへ**

- 海外へのプロモーションやプロジェクト展開を国が推進し、「道の駅」は世界ブランドに。多くの外国人が新たなインバウンド観光拠点となった「道の駅」を目指し日本へ。
- 「道の駅」では、国や連絡会の支援も受けて、多言語対応やキャッシュレスなど基本サービスを用意。地域の文化体験など地域ぐるみでの受入環境も充実。周辺の「道の駅」や観光施設、風景街道などが連携して周遊観光ルートを創出。
- バス、自転車、レンタカーなど周遊の交通拠点としての役割も発揮し、日本の隅々まで旅行を喚起。多様な交通手段と地域、観光施設情報等がまとめて提供されるサービス(観光MaaS)の導入も始まり移動が活発化。

**2. 新「防災道の駅」が全国の安心拠点に**

- 広域的な防災機能を担うため、国等の支援を受けてハード・ソフト対策を強化した「防災道の駅」を新たに導入。地域住民や道路利用者、外国人観光客も含め、他の防災施設と連携しながら安全・安心な場を提供。
- 各「道の駅」でも、地域の防災計画に基づいて、BCPの策定、防災訓練など災害時の機能確保に向けた準備を着実に実施。
- これら「道の駅」の活動情報は、災害時に国、自治体、連絡会等でいち早く共有。関係機関の支援も受けながら、道の駅が地域の復旧・復興の拠点として貢献。

**3. あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに**

- 「道の駅」を舞台に、地域の課題解決や民間とタイアップした「地域活性化プロジェクト」が、ボランティアを含めた様々な団体との協働や、全国連絡会等が橋渡しを行いながら、全国各地で盛んに実施。
- 地域の子育てを応援する施設の併設や、高齢者の生活の足を確保するための自動運転サービスのターミナルとなるなど、あらゆる世代が「道の駅」で活躍するための環境を提供。
- 多くの学生達が、「道の駅」でインターンとして業務を経験したり、実習に訪れ、地域の特産品をいかした商品開発に取り組み、全国コンテスト優勝を目指して奮闘。

**多言語対応**  
外国人観光案内所の認定: 2019年11月時点 10% → 2025年 50%以上 (対象駅: 観光案内所のある道の駅 約850駅)

**キャッシュレスの導入**  
導入率: 現在 74% → 2025年 80%以上 (対象駅: 全国の道の駅 1,194駅)

**海外や観光関係団体との連携**  
海外へのプロモーションの推進 (現在の認知度19%)  
海外への展開 (現在5カ国から拡大)  
風景街道等との連携事業の促進

**地域防災 BCPの策定**  
現在 4% → 2025年 100% (対象駅: 地域防災計画に位置づけられた道の駅 約500駅)

**広域防災 防災道の駅**  
広域的な防災拠点となる道の駅の選定  
ハード・ソフト両面からの重点強化等  
2020年～新たな「防災道の駅」認定制度の導入

**子育て応援 ベビーコーナーの設置**  
現在 18% → 2025年 50%以上 (対象駅: 全国の道の駅 1,194駅)

**地域活性化プロジェクト (全国連絡会)**  
新規 50件 (2025年累計)

**大学等との連携企画の実施**  
2019年11月時点 24校 → 2025年 50校 (2020年～全国コンテストを開始)